

	中学生が「ごみ減量」などのテーマで政策を提言！ ～練馬子ども議会 子ども議員が政策提言を発表～
と き	8月7日(火) 午後1時30分～3時30分
と ころ	生涯学習センター(練馬区豊玉北6-8-1)
<p>区は、7日、「練馬子ども議会」を生涯学習センター(豊玉北6-8-1)で開催した。参加したのは、区内中学校の代表生徒35名。</p> <p>生徒は子ども議員として、4グループに分かれ、「観光振興」「ごみ減量」「ICT活用」「中高生の児童館の利用」についての政策を提言した。</p> <p>子ども議員が発表した政策提言については、河口浩教育長が講評を行い、区政に反映させていく。今年の冬には、子ども議員の政策提言が区政にどのように反映されているかを確認し、子ども議会報告書を作成する。</p>	



▲政策提言発表の様子

【当日の様子など】

午後1時30分、子ども議員の中から選出された議長が開会宣言を行い、練馬子ども議会が開会した。

それぞれのグループが、担当した政策提言を、思いを込めて順番に発表し、子ども議員同士での質疑応答が行われた。事前の学習会では、各地域で調査を行い、討論を繰り返しながら政策提言をまとめた。

河口浩(かわぐちひろし)練馬区教育長は、子ども議員の政策提言に対して「区への提言だけではなく、各課題に対して自分たちができる取組みを発言していて関心をした。」と全体の講評を行い、最後に「子ども議会で体験したように、様々な意見を聞き、考えを深めることを繰り返すことが大切である。」とアドバイスした。



▲河口教育長による講評

【政策提言発表の内容】

練馬の観光・魅力をPRする取組

- ①バリアフリーを強化すること。
- ②外国人観光客に対応できるようにすること。
- ③パンフレットやインスタ映えする場所を宣伝すること。
- ④シェアサイクルを活用すること。
- ⑤アニメという資源を活用すること。

ごみになるものを減らす取組

- ①ごみの分別を徹底すること。
- ②食品ロスを減らすこと。
- ③不要な紙類の使用を抑えること。

ICTの利用状況とその効果

- ①ICT機器の導入を増やすこと。
- ②ICT技術の個人差を解消すること。
- ③ICT機器のトラブルを減らすこと。

中高生の児童館の利用率を上げるための取組

- ①宣伝方法を改善すること。
- ②中高生が利用しやすいような設備が整えること。
- ③中高生にとって魅力的な行事を増やすこと。

【参考】練馬子ども議会について

21世紀幕開け事業の一つとして、平成13年に初開催。中学生の視点からの質問や意見を、区に直接届ける機会となっている。今年も、区立中学校全34校、私立中学校1校から代表35人が参加した。